

日本物理学会 2008 年秋季大会：誘電体分科インフォーマルミーティング

日時：平成 20 年 9 月 21 日（日）16:30 - 17:15
場所：岩手大学上田キャンパス VE 会場
参加者：30 名程度

議題

1. 次回シンポジウム等の企画
2. 次々期世話人
3. 国際学会の報告・案内
4. 物理学会からの報告・提案
5. 連絡事項
6. その他

協議事項

1. 次回シンポジウム等の企画

概要

- 第 64 回年次大会（於：立教学院池袋キャンパス）でのシンポジウム、招待講演についてメーリングリストで推薦を募った。
- 現在までに寄せられた企画は、シンポジウム、招待講演ともに 0 件である。
- シンポジウムは領域 10 では毎回 2 件程度までが採択される模様。
- 今回（2008 年秋季大会）は領域 10 からの提案がシンポジウム 2 件（領域 9 との合同シンポジウム 1 件を除く）、招待講演 1 件（誘電体分科が企画）であった。
- 他に提案が無いか議論した。

補足（世話人より）

本来であれば、提案を受けメーリングリストでの意見交換の後に本シンポジウムでの承認となる流れであるが、提案がないため、この後に提案が出ればメーリングリストで意見交換と承認を得るながれとなることを了承いただいた。

意見・決定事項

- 誘電体分科から出来るだけ毎回提案をするべき。

参考）招待講演・特別講演、シンポジウム提案申請までの流れ

1. シンポジウムの企画発案者は提案書（案）を世話人に提出する。
2. 世話人関係者で提出された提案書（案）に対し意見を出し合う。
3. 参考意見をもとに、提案書（案）を手直しして、世話人に再提出する。
4. 世話人は誘電体分科構成員（メーリングリスト登録者）に対して、提案書（案）を電子メールで公開する。構成員は、提案書に対する各人の意見を世話人に提出するか、あるいは誘電体分科のインフォーマルミーティングに向け準備する。

5. 提案書（案）についての実質的な審議は誘電体分科のインフォーマルミーティングで行う。インフォーマルミーティングの了解が得られた後に、提案者は物理学会のホームページから提案申請を行う。

2. 次々期世話人

次々期世話人の推薦と決定

- 次々期世話人（任期：2009年5月～2010年4月）をメーリングリストにて募集した。
- 本インフォーマルミーティングでの推薦は挙がらなかった。
- 世話人グループからの推薦として、谷口 博基 先生（東京工業大学応用セラミックス研究所）を提案した。
- 賛成多数で谷口 博基 先生にお願いすることで承認された。

参考) 近年の世話人

年		任期	
		11月から翌年10月	5月から翌年4月
2003年	秋	渡部行男 (九州大)	伊藤 満 (東工大)
2004年	春	岩田 真 (名工大)	
2005年	秋	重松宏武 (島根大)	辻見裕史 (北大)
	春		南 英俊 (筑波大)
2006年	秋	清水文直 (いわき明星大)	小林 正 (大分大)
	春		副島雄児 (九州大)
2007年	秋	森吉千佳子 (広島大)	狩野 旬 (筑波大)
	春		?
2008年	秋	喜久田寿郎 (富山大)	
	春		
2009年	春	王 瑞平 (産総研)	
2010年	春		

3. 国際学会の報告・案内

すでに開催された国際学会

ISIF2008 International Symposium on Integrated Ferroelectrics
(2008/6/9-12 Biopolis, Singapore)

<http://www.isif.net/>

小島 先生（筑波大）から紹介があった。
強誘電体材料の基礎からデバイス応用まで幅広い発表。

RCBJSF-9 第9回日露/CIS/バルチック強誘電体シンポジウム
(2008/6/15-19 Vilnius University, Lithuania)

<http://www.rcbjsf.ff.vu.lt/>

岩田 先生（名工大）から詳細な報告があった。

ビルニス大の J. Grigas がプログラム委員長。

次回は 2010 年 6 月 20-25 日に東京工業大学で開催される。（下記参照）

AMF-6 第6回アジア強誘電体会議 (2008/8/3-6 国立台北科学技術大学, 台湾)

<http://www.ntut.edu.tw/~wwwamf6/>

喜久田 先生（富山大）から報告があった。

議長は台北科技大の Tseung-Yuen Tseng, オーラル 115 件、ポスター162 件。

次回は 2010 年に韓国で開催される模様。

KJCFE-07 第7回韓日強誘電体会議 (2008/8/6-9 国際交流会館・済州大学, 韓国)

<http://rcdamp.phys.pusan.ac.kr/KJCFE07/main.html>

野田 先生（東北大）から詳細な報告があった。

次回は 2010 年に姫路で開催される模様。

IUCr2008 国際結晶学会第21回連合大会 (2008/8/23-31 大阪国際会議場, 大阪)

<http://www.iucr2008.jp/>

野田 先生（東北大）から詳細な報告があった。

66 の国や地域から 2,617 名の参加。

38 件の基調講演、491 件の講演、1501 件のポスター発表があった。

次回は 2011 年 8 月 22-29 日、マドリッド（スペイン）で開催される。

ECAPD'9 9th European Conference on Applications of Polar Dielectrics
(2008/8/26-29 SAPIENZA University, Roma, Italy)

<http://w3.uniroma1.it/ECAPD9/>

世話人で把握していなかったが、小島 先生（筑波大）から紹介があった。

物性基礎研究、誘電体応用研究、デバイス研究などの発表があった。

次回は 2010 年に開催される模様。

ELECTROCERAMICS XI (2008/8/31-9/4 University of Manchester, UK)

<http://www.electroceramics11.co.uk/>

PUISFP 2008 第9回ポーランド・ウクライナ会議&第29回国際強誘電体物理スクール
(2008/9/14-18 Pedagogical University of Krakow, Poland)

<http://www.puisfp2008.ifd.uni.wroc.pl/>

喜久田 先生（富山大）から報告があった。

議長はブツワフ大の Z. Czaplak とリビウ大の I. Stasyuk、オーラル 28 件、ポスター38 件。

次回は 2010 年リビウ/Lviv（ウクライナ）で開催される模様。

まもなく開催される国際学会

DISLOCATIONS 2008

(2008/10/13-17 Gold Coast Hotel, Hong-Kong)

<http://dislocations2008.stanford.edu/>

MFMN2008 7th International Conference on Materials for Microelectronics and Nanoengineering

(2008/10/20-22 Crowne Plaza Hotel, Maastricht, Netherland)

<http://www.mfmn2008.euspen.eu/>

AMEC-6 第6回アジアエレクトロセラミックス会議&第28回エレクトロセラミックス研究討論会 (2008/10/22-24 物質・材料研究機構・文科省研究交流センター、つくば)

<http://www.amec6.org/>

http://www.ceramic.or.jp/bdenshi/touron/touron28/call_for_paper_j.html

小島 先生（筑波大）から紹介があった。

これから開催される国際学会

IMF-12 & ISAF-18 第12回国際強誘電体会議 & 第18回国際強誘電体応用シンポジウム

IEEE の Ultrasonics, Ferroelectrics, and Frequency Control Society (UFFC-s) が主体となる ISAF と合同で開催される予定。

期間	2009年8月23日～27日
場所	西安交通大学, 西安, 中国
アブストラクト締切	2009年2月28日(土)
(早期)登録受付	2009年6月30日
URL	http://www.imf-isaf.com/

RCBJSF-10 第10回日露/CIS/バルチック強誘電体シンポジウム

谷口 先生（東工大）から紹介があった。

期間	2010年6月20日～25日
場所	東京工業大学すずかけ台キャンパス
登録受付	2009年11月30日
アブストラクト締切	2010年1月31日
URL	http://www.msl.titech.ac.jp/~RCBJSF10/index.htm

※ホームページにはまだ構築中の個所があるとのこと。

4. 物理学会からの報告・提案

若手奨励賞の受賞者数について

- 将来の物理学をにやう優秀な若手研究者を奨励し、日本物理学会を活性化するために第 62 回年次大会（2007 年秋）より受賞を始めている。
- 現在の若手奨励賞の受賞者数は、2003～2005 年の年次大会の講演者数から受賞者数の上限 3 年間の講演者数の比率（%） $\times 0.31+1$ ただし、四捨五入、全体で 50 名程度以内が決められ、領域 10 では 2 名になっている。
- 関連学会の類似した若手賞は、応用物理学会が一般講演件数の 1%以内、日本化学会では 20 件に 1 件、数学会では年 5 名程度となっている。
- 受賞者数についての意見を世話人へ寄せていただくようお願いした。

若手奨励賞の第二期審査委員（任期 2008 年 10 月～2010 年 9 月）

- 2008 年秋期大会インフォーマルミーティング各分科から推薦することになっていたのに、今回のインフォーマルミーティングで検討することとした。
- 適任者（氏名非公開）を誘電体分科から推薦することです承された。

若手奨励賞の公募について

- 積極的な応募をお願いした。

公募案内 学会誌 5 月号に掲載予定

公募締切 7 月頃（各領域ごと）

備考 原則として受賞年の 3 月 31 日時点で 37 歳以下

領域レビューセッションについて

- 領域・分科の活性化のため候補者を多く推薦したいので、今後の講演者を推薦していただくようお願いした。

参考) 領域レビューセッションとは

領域レビューセッションは若手研究者を対象とし、たとえば博士号取得直後の若手研究者が今後の研究テーマを設定するのに参考となるようなレビュー講演を想定している。講演者は自分の専門領域のみにとどまらず、関連領域のレビューを行うことが求められている。また、高校生等への科学啓蒙の意味もあるとする意見もある。

日本物理学会論文賞

- JPSJ 編集委員会、各支部、各領域から推薦をあげて年間 5 編以内が決定される。
- 推薦をお願いした。

次期領域代表・副代表

次期（任期：2008年10月～2009年9月）の領域代表・副代表：

代表 小島 誠治 先生（筑波大・誘電体）
副代表 野田 幸男 先生（東北大・X線粒子線）

※次々期副代表は第64回年次大会の領域10インフォーマルミーティングで決定される予定。

参考) 現在の代表・副代表（任期：2007年10月～2008年9月）

代表 竹田 精治 先生（阪大・格子欠陥）
副代表 小島 誠治 先生（筑波大・誘電体）

5. 連絡事項

第64回年次大会

- 開催地
立教学院池袋キャンパス
 - 期日
2009年3月27日（金）～30日（月）
 - インフォーマルミーティングの申込（世話人が対応する）
10月8日（水）～11月28日（金）
 - 招待講演，企画講演，シンポジウム企画
Web 10月8日（水）～10月31日（金）
 - 一般講演 申込期間
郵送 11月7日（金）～11月21日（金）17:00
Web 11月7日（金）～11月30日（日）17:00
 - 講演概要集原稿締切
郵送，pdfとも 1月23日（金）必着
- ※詳細は学会誌10、11月号に掲載予定。
※期日に関しては誘電体メーリングリストでも案内する。

第64回年次大会プログラム編集会議

- プログラム編集会議 12月12日（金）→世話人（狩野、王）で対応する。
- 講演順序、日時などの申し込み後の変更は世話人まで連絡のこと。

誘電体分科ホームページについて

誘電体分科ホームページを管理している 狩野 先生（筑波大）よりホームページをもっと魅力あるものに改善していきたいという提案と、何かご意見・アドバイス・情報を寄せてほしいとのお願いがあった。

領域 10 のホームページについて

領域 10 のホームページが立ち上がっている。誘電体分科ホームページと共に 狩野 先生（筑波大）が管理しているので、内容などの提案や情報をお願いしたい。

6. その他

領域 10 連絡係

- 領域代表の分科会世話人が担当している。現在は格子欠陥分科の世話人が担当。10月から誘電体の世話人へ引き継がれる。
- 次期世話人の王 瑞平 先生（産総研）が引き受けてくださることになった。

以上